

屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助の実施細則

平成9年7月1日危保細則第14号
最終改正 令和8年4月7日危保細則第3号

第1 目的

この細則は、危険物保安技術協会（以下「協会」という。）が、タンク溶接工事業者等（以下「委託者」という。）の依頼を受けて実施する屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験（以下「確認試験」という。）に係る技術援助に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

第2 確認試験の対象

- 1 確認試験は、屋外貯蔵タンクの次に示す溶接継手を対象とする。
 - ・側板の縦継手及び水平継手
 - ・側板とアニュラ板又は底板との継手
 - ・アニュラ板相互の継手
 - ・アニュラ板と底板との継手
 - ・底板相互の継手
 - ・屋根板相互の継手
- 2 確認試験は、溶接工事及び溶接条件等の管理を一体的に行う委託者ごとに実施する。

第3 確認試験の方法

- 1 確認試験は、附属書「屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に関する細目基準」に基づいて行う。
- 2 協会は、委託者が作成する別表1に定める事項を記載した溶接施工方法確認試験要領書（以下「要領書」という。）の内容を確認後、鋼板、溶接材料、溶接方法等の溶接条件の組合せごとに、委託者が行う溶接試験及び機械試験に立会ってその内容を確認する。

第4 手続き等

- 1 委託者は確認試験に係る技術援助を協会に委託するに当たっては、様式第1の技術援助委託書（以下「委託書」という。）に必要事項を記入し、要領書を添付のうえ、協会に提出するものとする。
- 2 協会は、委託書の内容を確認のうえ、様式第2により技術援助契約書を二通作成し、捺印のうえ、委託者に送付するものとする。
- 3 委託者は、前項により送付された契約書に捺印のうえ、二通のうちの一通を協会に返送するとともに、危険物保安技術協会技術援助等実施規程第4条に定める受託料を協会の指定する口座に振込むものとする。
- 4 確認試験は、前第3のほか、次の手順により行う。
 - ア 協会は、委託者と試験実施日時について協議のうえ、検査員を派遣する。
 - イ 委託者は、溶接終了後、協会検査員立会いのもとに、各試験片に協会指定の刻印を打刻する。
 - ウ 委託者は、機械試験終了後、機械試験結果に加えて、マクロ試験結果、試験片のミルシート等を含む試験結果書等1部を協会に提出する。

第5 報告

協会は、技術援助が終了したときは、委託者に対し様式第3の報告書により報告を行うものとする。

附 則

この実施要領は、平成9年7月1日から実施する。

附 則（平成11年10月19日危保細則第13号）

この実施要領は、平成11年10月19日から実施する。

附 則（令和3年10月20日危保細則第4号）

この細則は、令和3年12月1日から実施する。

附 則（令和8年4月7日危保細則第3号）

この細則は、令和8年5月1日から実施する。

別 表 1

溶接施工方法確認試験要領書記入項目

溶 接 施 工 方 法 確 認 試 験 条 件 等	1 溶接継手の種類
	2 鋼板の厚さ、種類
	3 溶接材料 ① 被覆アーク溶接棒 ② フラックス ③ 溶接用ワイヤ
	4 溶接方法 ① 溶接姿勢 ② 溶接方法の種類 ③ 予熱の有無 (有りの場合、その温度) ④ 溶接後熱処理の有無 (有りの場合、保持温度及び時間) ⑤ シールドガスの種類 ⑥ 裏面からのガス保護の有無 ⑦ 電極 (単極、多極) ⑧ 層盛 (多層、一層)
試験片の図	1 試験板形状図 (機械試験に使用する試験片箇所を合わせて記入)
	2 試験片詳細図

技術援助委託書

*契約番号

危険物保安技術協会		年 月 日			
理事長 殿		委託者			
		所在地 _____			
		(電話 _____)			
		代表者名 _____			
下記により、技術援助について委託します。					
溶接試験	実施事業所等 及び所在地				
	実施希望日				
機械試験	実施事業所等 及び所在地				
	実施希望日				
確認試験の数					
希望契約期間		契約日 ~ 年 月 日 まで			
技術援助項目		屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助			
連絡先	契約書	担当者名	担当部署名	事業所名	電話番号
		電子メールアドレス			
	請求書	担当者名	担当部署名	事業所名	電話番号
		電子メールアドレス			
*手数料		*消費税	*旅費	* 合計	* 受付欄
円	円	円	円		

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 *印の欄は記入しないこと。

技術援助契約書

		契約番号	
<p>甲と乙とは、屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助について、 年 月 日付「技術援助委託書」に基づき、下記のとおり契約を締結する。</p> <p>年 月 日</p> <p>所在地； (甲) 代表者；危険物保安技術協会 理事長 印</p> <p>所在地； (乙) 代表者； 印</p>			
契約期間	契約日 ~ 年 月 日 まで		
契約内容	屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助		
確認試験の数			
受託料	手数料	円	合計 円
	消費税	円	
	旅費	円	

備考 この契約に定めのない事項及び疑義のある事項については、別途甲乙協議して定めるものとする。

屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助報告書

年 月 日

殿

危険物保安技術協会
理事長

年 月 日（契約番号第 号）付けで受託した屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助の結果は、下記のとおり屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験として適正であると認められる。（認められない。）

記

溶接継手の種類		
鋼 材	板 厚	
	種 類	
溶 接 材 料	溶接棒	
	フラックス	
	ワイヤ	
予 熱	有 無	℃
溶 接 方 法		
溶 接 姿 勢		
溶 接 後 熱 処 理		℃ 保持時間 HR
シールドガス		
裏面からのガス保護		有 無
電 極		単極 多極
層 盛		1 層 多層
備 考		